

ディボーション質問表

25日(日) 先週一週間のディボーションを振り返ってみましょう。

1. 心に残った箇所、教えられた箇所に何か共通点はありましたか？
2. その中で一番心に残っていることは何でしょうか？
3. 教えられた事をどのように先週の歩みの中に生かされたでしょうか？
その事を誰かに分かち合ってみませんか。



26日(月) ヨハネの黙示録 21:9~22:5

ここでの主題は「新しいエルサレム」です。その広さは文字通りには約2220キロメートル四方の立方体です。アブラハムがめざしていた天の都とはまさにこれで、その地面は貴金属、その光は父なる神と子なるキリストであり、都を流れるいのちの川と、そのほとりに生えるいのちの木が人々をいやします。

1. この箇所を読んで、どんな天国の様子がイメージできますか？ 自分の言葉で短く言い表してみましよう。
2. 都は神の光を映し出すもので満ちています。あなたは今日、神のどんな性質を自分の生活に反映しますか？

27日(火) ヨハネの黙示録 22:6~21

最後は黙示録のまとめと、この書の正しい取り扱いについて書かれています。黙示録はその衝撃的な内容が人の注目をひき、その好奇心をかき立てますが、その目的は「時が近づいていること」を知らせ、「聖徒に希望」を与え、「正しいことを行わせる」ことです。それは私達に神の壮大な「エンドビジョン（世界の宣教を終了すること）」を知らせ、今のキリスト者の生活が例外なく、このゴールに向かっていくことを意識させてくれます。

1. この幻を見たヨハネの気持ちを想像してみましょう。あなたはどんな気持ちでしたでしょうか？
2. 今私達は神に「来てください。」と願い、行動しているでしょうか？ その時が早められるために何をすべきでしょう。

28日(水) 伝道者の書 3:1~22

1. ここから本格的に神の介入が見られます。人間にはない神の視点をここからいくつかあげてください。もしこのような神の目があるとすれば、あなたはどんな生き方をするでしょうか？
2. 1~8節は「あきらめの論理」ではなく、希望へとつながる詩であるべきです。あなたはここからどんな希望を見いだすでしょうか？
3. 人も獣も死ぬ点では同じだ、とありますが、死後の結末は違います。どう違うのでしょうか？

29日(木) 伝道者の書 4:1~16

1. 権力がいかに移っていくかが記されています。あなたは今どんな権力、または影響力を持っていますか？ それが無くなる時の来る前にどのように使いたいですか？
2. 仲間の存在は人に喜びを与えます。あなたは今日誰の仲間になりますか？ 人を神の喜びへと導く働きをどのようにして果たしますか？
3. ここでは神なしなら、存在しないことこそ人にとって最高の善であることが記されます。このような見解を聞いたことはありますか？

30日(金) 伝道者の書 5:1~20

1. 神にある幸福の定義が記されています。どんなことがありましたか？ またあなたの生活にはそのような幸福のどれがあるでしょうか？ 見つけて神に感謝しましょう。
2. 神の前に出るときの心得が書かれています。あなたにとって最も大切な心得は何でしょう。もう一度自分の神に対する態度を吟味してみましょう。
3. この世ではよく「夢」が語られますが、時にはその夢がおかしな方向へ人を導くこともあります。神にあってどのような夢を、どのように持っていくますか？

1日(土) 伝道者の書 6:1~12

1. 富、財宝、誉れを持っていても、それを楽しめない人生とは何でしょう。どうしたらそれらを有効に使って自分の幸せに結びつけることができるでしょうか？
2. 知恵ある者、愚かな者、貧しい者もそれぞれ人としては差がなく、見方によっては誰でも幸せになれる秘訣があるようです。それは何だと思いませんか？
3. 幸せが感じられない人生を避けるためにイエス様は新約聖書でどんなことを語られていたか、思い出してみましよう。